繕う美しさをインテリアで 温綴（おんてい）

「温綴」は

「温」は古いものを繕うことでその温もりや歴史を残し続けるという意味から、

「綴」はものとものを繋げ、時間や思いを一つにまとめるという意味から、

名付けました。

コンセプト：日本では古くからものを大切にし、感謝する精神が深く根付いています。
その考え方から着物を作る際に余ってしまった端切れ、汚れて着れなくなった
着物の有用部分を繋ぎ合わせて壁紙や床、インテリアファブリックに取り入れます。

効果：この手法を取り入れることでさまざまな柄の着物の端切れが部屋を華やかに彩ります。
また、長年に渡って使うことでそれぞれの着物の独自の味わいや風格が現れます。
この手法は単にインテリアに取り入れるだけでなく、完璧でないものに美を見出すという
考え方から日常生活や心のあり方に影響を与えます。